

# 日点委通信

No. 16

2000年11月1日発行

## 日本点字委員会 総会報告

日本点字委員会は、2000年6月10日・11日の両日、大阪市西区江戸堀の日本ライトハウス盲人情報文化センターにおいて第36回総会を開催し、次の事項を協議した。出席委員は阿佐会長はじめ19名、事務局員4名、会友3名、オブザーバー等28名、総計54名の出席者があった。

### 1 『日本点字表記法 2001年版』の改訂についての討議

1999年5月の日本点字委員会第35回総会において提起された課題について『日本点字表記法 2001年版』編集委員会が数回にわたって検討しまとめた改訂原案の協議をした。その多くは原案どおり了承されたが、規則の表現や用例の適否などについて幾つかの問題点が指摘され、その修正は編集委員会に付託された。

### 2 『日本の点字』第26号の編集・発行について

今回の総会において編集委員会に付託された検討事項を協議し修正された『日本点字表記法 2001年版』の改訂原案を特集号として編集し発行する。

### 3 委員の交替について

盲教育界代表委員の木村眞智子委員（静岡県立浜松盲学校）は佐藤智紀子氏（愛知県立名古屋盲学校）と交替し、日本盲人社会福祉界代表委員の岩井和彦委員（日本ライトハウス）は窪田和代氏（日本ライトハウス点字情報技術センター）と交替した。

## 『日本点字表記法 2001年版』の改訂原案公表

前記の総会報告にあるとおり、『日本の点字』第26号は、日本点字委員会第36回総会の協議結果を受けて、2001年版編集委員会でまとめた改訂原案の特集とした。言うならば中間発表のようなものである。多くの点字関係者からのご意見をいただき、来

る2001年5月に予定されている第37回総会において最終決定をすることになっている。

今回の『日本の点字』第26号は、特例として全国の各盲学校及び日盲社協加盟の各点字図書館と点字出版所に墨字版1部ずつを送呈することにしましたので、日本点字委員会事務局までご高見をお寄せいただければ幸いです。

## 第1回点字技能検定試験実施要項決まる

日本点字委員会には、かつて1981年から85年にかけて「点字技能の評価基準」についての調査研究を実施した経緯がある。主として盲教育界からの要望によるもので、全国の盲学校で使用している「点字読み書き能力の評価基準」を調査し、点字の読み書きの速さから点字の仮名遣い・分かち書きを含めた日点委としての総合的な評価基準の作成をめざした試みであった。当初は晴眼の点訳者は含めず、点字使用者の書きの習熟度に絞って、日本点字表記法から評価項目をチェックリストの形で拾いあげ、その項目を段階別に整理する作業にまで進んだのであるが、十分に整理しきれないまま、日本の点字制定百周年記念事業等に忙殺されて中断したままになっている。

これより先、日本点字委員会の前身である日本点字研究会では、1960年に「点字能力検定規則」を作成し、点字の五十音、触写（転写）、聴写、速読の4種目について、2分間のテスト時間での読み書きの成果を評価できる「種目別級別認定基準表」を公表している。この「認定基準表」は1級から9級までの基準値が示されていて、児童生徒の点字能力の向上を図る指針と到達基準として活用されていた。

この度、日本盲人社会福祉施設協議会（日盲社協）では、点字技能検定試験によって「点字技能士」を認定するという形で点字技能検定制度を発足させた。検定試験の試験科目は、学科試験と実技試験の2種目である。

この点字技能試験制度の実施目的は、「点字についての卓越した知識・技能を有する人に点字技能士の資格を付与することによって、点字関係職種の専門性と点字についての社会的な認知度を高め、併せて点字の普及と点字の質の向上を図り、視覚障害者に的確な情報を提供すること」となっている。「点字技能士」の資格は、点字技能検定試験に合格し、日盲社協に登録することによって与えられる。登録料は3千円である。日盲社協からは理事長名の認定書が交付される。

第1回点字技能検定試験の実施期日は、2001年（平成13年）1月28日（9時20分～16時）で、午前中に2時間の学科試験、午後は2時間30分の実技試験が行われる。受

験資格は、年齢が検定試験実施の年度内に満18歳となる者以上ということになっているので、2001年3月31日までに満18歳になる人以上ということになる。試験会場は、今年度は東京と大阪の2会場で行われる。受験料は一人1万円である。

試験科目のうち学科試験は、視覚障害に関する知識や点字に関するもののほか、広く障害者福祉に関する知識や理解度を問い、併せて日本語に関する知識などから出題される。学科試験問題の形式は四者択一方式で、晴眼の受験者にもすべて点字で出題される。点字の読みの力も問われることになる。点字を読み慣れていない受験者にとってはかなりのハンディになるかもしれない。

実技試験は、点字化（点訳）の技能と点字の校正技能とを問う技能試験である。点字化の技能試験は、出題された墨字の文章を点訳する技能試験で、弱視の受験者は拡大文字による受験を選択することもできる。出題される文章の活字の大きさは16ポイントで、拡大文字は22ポイントのゴシック体である。点字使用者は、音声化（録音）された出題文を聴いて点字を書く実技試験である。いわゆる聴写である。

校正技能の実技試験は、点字の文章とその墨字の原文とを照合し、点字の文章の誤りの部分を点字による校正表記基準によって校正をする技能試験である。弱視の受験者は墨字原文の拡大文字を希望することもできるし、点字使用者は、音声化された墨字原文と点字の文章とを照合して校正作業を行う実技試験である。

実技試験の点字表記は、日本点字委員会の『日本点字表記法 1990年版』に準拠することになっている。出題される文章は、一般的な日本語の文章で、専門的な点字表記を必要とするような内容は含まないことになっている。ただし、外国語や算数等の符号類については、一般書に見られる程度の点字表記は含まれる。

解答は、点字使用者は点字で、墨字使用者は、学科試験については墨字で、実技試験については点字で解答することになる。解答用の筆記用具は、点字器又は点字タイプライターとし、墨字解答には鉛筆を用いることになっている。いずれも受験者が用意することになっている。なお、パソコンの使用は認めていない。

受験の申込みは、2000年（平成12年）10月31日（当日の消印有効）までに点字技能検定試験事務局（〒162-0054 東京都新宿区河田町10の10 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会内 電話 03-3357-0090）あてに郵送することになっている。なお、点字技能認定制度や点字技能検定試験の詳細は上記事務局に照会されたい。

この日盲社協の点字技能認定制度は、何年かの実績を積んで、将来的には「手話通訳士」のような国家資格にすることを目標にしている。

## 頒 布 図 書 案 内

注文先・日本点字図書館用具事業課（本体に消費税がかかります）

- |    |                       |                  |
|----|-----------------------|------------------|
| 1. | 『日本点字表記法 1990年版』（墨字版） | 1000円（発送手数料300円） |
| 2. | 『点字数学記号解説』（墨字版）       | 改訂中              |
| 3. | 『点字理科記号解説』（墨字版）       | 改訂中              |
| 4. | 『日本の点字100年の歩み』（墨字版）   | 500円（発送手数料200円）  |
| 5. | 『試験問題の点字表記』（墨字版）      | 800円（発送手数料300円）  |

（郵便振替 00150 - 8 - 44522）

注文先・日本点字図書館点字製作課（消費税はかかりません）

- |    |                       |             |
|----|-----------------------|-------------|
| 1. | 『日本点字表記法 1990年版』（点字版） | 6000円（送料無料） |
| 2. | 『試験問題の点字表記』（点字版）      | 4000円（送料無料） |

（郵便振替 00190 - 9 - 750672）

注文先・日本点字委員会事務局

- |     | （点 字 版）   | （墨 字 版）      |
|-----|---|--------------|
| 1.  | 『点字数学記号解説』 改訂中                                  |              |
| 2.  | 『点字理科記号解説』 改訂中                                  |              |
| 3.  | 『日本の点字100年の歩み』 700円（送料無料）                       |              |
| 4.  | 『統一英語点字コード研究プロジェクト文書コードの拡張・最終報告』<br>3000円（送料無料） | 750円（送料240円） |
| 5.  | 『日本の点字 第9号』 300円（送料無料）                          | 300円（送料180円） |
| 6.  | 『日本の点字 第11号』 400円（送料無料）                         | 400円（送料180円） |
| 7.  | 『日本の点字 第12号』 400円（送料無料）                         | 400円（送料180円） |
| 8.  | 『日本の点字 第13号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
| 9.  | 『日本の点字 第16号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
| 10. | 『日本の点字 第17号』 600円（送料無料）                         | 600円（送料180円） |
| 11. | 『日本の点字 第18号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
| 12. | 『日本の点字 第19号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
| 13. | 『日本の点字 第20号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
| 14. | 『日本の点字 第21号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
| 15. | 『日本の点字 第22号』 600円（送料無料）                         | 600円（送料180円） |
| 16. | 『日本の点字 第23号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
| 17. | 『日本の点字 第24号』 600円（送料無料）                         | 600円（送料180円） |
| 18. | 『日本の点字 第25号』 500円（送料無料）                         | 500円（送料180円） |
|     | （複合動詞「する」の切れ続きに関するアンケート調査の結果報告 他）               |              |
| 19. | 『日本の点字 第26号』 600円（送料無料）                         | 600円（送料180円） |
|     | （『日本点字表記法 2001年版』の編集・発行に当たって—改訂原案 他）            |              |

墨字版の送料は冊数が多くなれば割安になりますのでお問い合わせください。

〒169 - 8586 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号 電話 03 (3209) 0671  
日本点字図書館内 日本点字委員会事務局 （郵便振替 00100 - 1 - 42820）